

資産評価政策学会

平成 26 年度研究大会・シンポジウムについて

資産評価政策学会

会長 三橋 博巳

学術委員会委員長 中川 雅之

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、今年度の研究大会・シンポジウムを下記要領にて開催致します。会員の皆さまには奮ってご参加いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

敬 具

記

1.日時 平成27年1月31日(土) シンポジウム開催時間 15:00~18:00

2.会場 日本大学経済学部7号館2階講堂(〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-8)

■主催 資産評価政策学会

■後援(予定) 日本不動産学会・日本地域学会・都市住宅学会

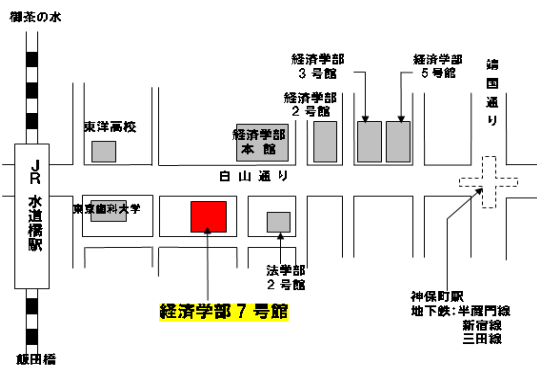
3. シンポジウムテーマ 「IFRS対応知財評価の現状と課題」

<趣 旨>

わが国の成長戦略において知的財産の重要性が明示され、これに合わせその経済価値の評価が大きな課題となってきております。海外をみますと、評価についてはIFRS(国際会計基準)と平行してIVS(国際評価基準)を軸として国際的な統合が進められ、具体的な評価手法について教育プログラム等の開発が行われております。未だわが国ではIFRSの強制適用には至っておりませんが、今回のシンポジウムではIFRS及びIVS準拠の知財評価手法につき海外の専門家を交えて、今後のわが国に於ける知的財産評価のあり方を考えて行きたいと思っております。

<シンポジウム参加者>

- (1) コーディネーター 若山 和夫 氏 (日本資産評価士協会専務理事)
- (2) ゲストパネリスト Raymond Rath 氏 (米国公認証券アナリスト)
- (3) パネリスト 長谷部智一郎氏 (テトロイトーマツファイナンシャルアドバイザー公認会計士)
鶴本祥文 (正林国際特許商標事務所 弁理士)



参加費無料

水道橋駅 (JR 中央線・地下鉄三田線) より徒歩 2 分

神保町駅 (地下鉄半蔵門線・新宿線・三田線) より徒歩 7 分

【参加者のプロフィール】

①若山 和夫

一般社団法人日本資産評価士協会（JaSIA） 専務理事

京都大学経営管理大学院 講師

ICU（国際基督教大学）教養学部卒，米国ペンシルバニア大学ウォートンスクール修士課程卒（MBA）

伊藤忠商事、大和証券、三井住友海上火災保険（MS&AD）を経て、現在、三井住友海上のCSRの一環として、JaSIAへ専務理事として出向。大和証券では、引受・M&A（ロンドン）、各種資産担保、証券化商品の開発に従事。三井住友海上では、財務企画部にてリスク管理、ファイナンシャルソリューション部（兼務）及び資産担保証券の保証業務を企画担当。米国の中立総合資産評価会社である American Appraisal Associate との日本での合弁で、アメリカン・アプレザル・ジャパン（AAJ）の設立を企画・立ち上げを担当し、大小含め多数の評価案件を統括。ASAの機械設備・在庫等講座の講師歴多数。

②Raymond Rath CFA* ASA（*米国公認証券アナリスト）

知財評価の専門家米国では屈指の専門家。ASA(米国鑑定士協会)の知財評価プログラムの統括責任者。無形資産・知財評価教育の分野では世界的に活躍。特に国際会計基準(IFRS)に準拠した評価理論・ノウハウに精通する。PricewaterhouseCoopers LLP、KPMG、Arthur Andersen等の主要監査法人で、事業・無形財産評価の責任者を経て、現在、Globalview社のマネージングディレクター。カンサス大学(経営学)を優等で卒業、南カリフォルニア大学 MBA。

③長谷部 智一郎

デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー株式会社 シニアヴァイスプレジデント 公認会計士 AIPE 認定知的財産アナリスト

中央大学大学院ファイナンス修士。監査法人トーマツ(現 有限責任監査法人トーマツ)入所後、日本基準・米国基準による会計監査業務や株式公開支援業務を経て、2002年に知的財産グループを創設。知的財産に関するM&Aアドバイザー、価値評価等の知的財産マネジメントに関する業務に従事。日本公認会計士協会「知的財産専門部会」元委員。

著書：「企業価値評価 実践編」(ダイヤモンド社)2004年[共著]、「勝ち残るためのM&A戦略 技術過信が製造業の危機を呼ぶ!」(ソフトバンククリエイティブ)2008年[共著]、「M&Aを成功に導く 知的財産デューデリジェンスの実務(第2版)」(中央経済社)2013年[共編]など多数

④鶴本 祥文